コミュニケーションペーパー（COMIPA）

おやま～る

2021年
1月

5号

第3回 登録団体活動発表・交流会

12/8 開催

2020年12月8日（火）に市民活動センター「おやま～る」において、第3回「登録団体活動発表・交流会」が開催された。今回は4団体による発表が行われ、今までの活動やこれからの活動、展望や課題について意見を交換し合った。

小山日中友好協会　野中　美恵子氏

「小山日中友好協会」は２０年前に設立され、日本と中国の懸け橋になるためにさまざまな活動を行ってきた。小学生への中国に関する国際理解教育、姉妹都市である紹興市へ派遣される中学生の研修、市民友好訪中団の添乗、「おーラジ」で中国人のために新型コロナ感染症情報を中国語で放送、企業の社員研修、さらに中国国費留学生への希望者の窓口になるなどその活動は幅広い。協会を運営する費用は、これまでの教え子たちによるものを中心に、会費や寄付でまかなっている。

とちぎボランティア団体 YAMBE(ヤンベ)　町田　親政氏

「とちぎボランティア団体YAMBE」は、2011年の東日本大震災の復興支援で気仙沼に炊き出しに行った帰りのバスの中で「俺たちに出来ることやんべ！」と設立された。その後、被災地での炊き出しや夏祭りの支援や復興応援バスツアーの実施だけでなく、小山市においても、2度にわたる水害の復興支援、児童養護施設や献血活動の支援を行っている。2021年8月9日（日）に文化センター大ホールで津波被災の体験者による講演会「あの日、あの時、あれから10年」を開催する。

第3回登録団体活動発表・交流会の様子

まちかど美術館　川元　由美子氏

市役所手前の街角にある「まちかど美術館」は、市民のギャラリーとして、また、アートの交流の場として設立され、今年で17年目を迎える。作家さんたちの支援・貸しギャラリー業務だけでなく、「夏休みアートワークショップ」「クリスマスを楽しく＋お正月展」などの自主企画もプロデュースしている。中でも「まちづくり写真展＆まちづくりシンポジウム」は毎年高い評価を受けている。「まちかど美術館は、アートを通じてチャレンジする人たちを力一杯応援します」とのことであった。

小山多文化共生進路ガイダンス実行委員会　安士　陽子氏

小山市には現在7000人を超える人が外国人登録をしている。その中には中学生が含まれるが、保護者も中学生自身も日本の高校の受験制度や入試までのプロセスが理解できていない人が大半である。しかし、中卒で学歴が終わると将来日本社会で生きていくにはいろいろと困難がつきまとうと考え、高校進学を支援するために2019年に当会は設立された。2020年は10月11日に相談会が開催され、9名の保護者と6名の生徒が参加した。今後ももっと多くの生徒を支援したいとのことであった。

小山市に新しいNPO法人が出来ました！

NPO法人　おやまグリーンツーリズム　代表　工藤 かや さん

農業を中心とした活動で小山市の地域活性化を目指しています。 OGT農園（おやまグリーンツーリズム農園）で季節を通じた農業体験、収穫体験や親子体験での食育を実施、 OYAMARKETというECサイトで無農薬野菜を販売することで小山市産の野菜を紹介、また、「みんなで森を開拓しよう！プロジェクト」で小山市にある森で自然の中での学びを提供しています。

Instagramはこちら　→　oyama_greentsurizum

コラム　我逢人

前回は行政と比較してボランティア活動のメリットを述べたが、今回は、現代社会において、ボランティアが必要とされている背景を考えてみたい。

「協働」という概念を最初に提起したのは、一九七〇年代、アメリカの政治学者ヴィンセント・オストロムである。彼は様々な自治体の公共サービスの比較研究を行い、市民が行政と連携して公共的活動を担っている自治体のほうがサービスの質が高いことを明らかにした。その際に「coproduction」（ともにつくりだす）が重要であるを説いた。それが、「協働」と翻訳されたのである。

日本では「協働」は、一九九〇年代から注目され、九九年に横浜市が全国にさきがけて「市民との協働に関する基本方針」を制定した。さらに、二〇〇一年に成立した小泉内閣は、翌年に地方行政団体の「三位一体の改革」を打ち出した。それにより、補助金や地方交付税に依存していた自治体が自立していかなければならなくなった。その一つの方策が「協働」であった。

また、社会背景もある。二〇〇八年をピークに日本は人口減少社会に入った。二〇一七年の六十五歳以上の人口割合は、27．7％と超高齢社会となっている。さらに、経済は成長拡大型から飽和濃縮型へと移行した。すなわち、今後は「人口減少」や「経済停滞」を悲観的に考えずに、それを前提によりよい社会を創造していくことを考えなければならない時代になったのである。

劇作家の平田オリザはその著書の中で、「人口は少しずつ減り、モノは余っています。大きな成長は望むべくもない。逆に、成長をしないということを前提にしてあらゆる政策を見直すならば、様々なことが変わっていくでしょう。」と書いている。

コミュニティデザインという活動を創った山崎亮は、「縮充」という概念を提唱している。それは「縮小」していくが「充実」している社会を目指すことを意味している。

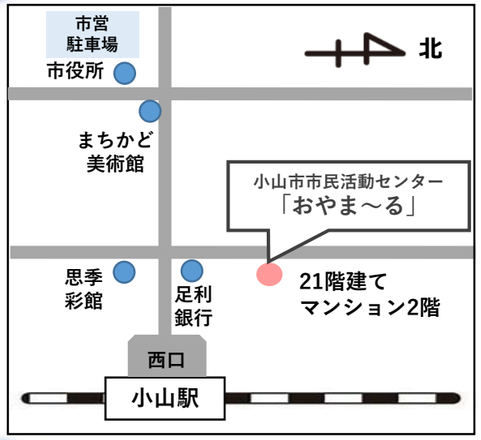
さらに、平田はその施策の要として、「循環型エネルギー」「相互扶助」「異文化コミュニケーション」を挙げている。つまり「環境保全」「弱者支援」「多文化共生」を課題とすることである。平田の目標は、「競争と排除の論理から抜け出し、寛容と包摂の社会」を創り出すことである。また、山崎はこれからの地域活動には、「住民の参加」が必須であるとしている。

これらの活動の中心を担うのは、行政と共に、あるいは行政に先んじて活動できる、ボランティアや市民団体である。そのような意味でボランティア的なものが、地域社会に不可欠になってきたのである。

市民活動センター「おやま～る」としてはこのような地域を想う人々・団体の意義をよく理解し、彼らの思いや活動が実現できるようにお手伝いしたいと思う。

二〇二一年の年頭にあたり、スタッフ一同、本年も頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

（センター長　結城史隆）



小山市市民活動センター
「おやま～る」
（指定管理団体：ゆめ評定）

〒323-0025
栃木県小山市城山町3-7-5
城山・サクラ・コモンビル2階

Tel: 0285-20-5562
Mail: info@oyamaru.net
Web: https://oyamaru.net

開館時間　9：00～21：00
休館日　年末年始（12/29-1/3）

新年明けましておめでとうございます！今年もよろしくお願いします。
今年も小山の市民活動が盛んでありますように♪

市民活動センターからのお知らせ

小山市市民活動センターの1月、2月、3月の催事

オンラインコミュニケーションツール（Zoom）の使い方を一緒に学ぼう

○初級編（Zoomをはじめて使用する方）
Zoomを使って会議に参加できるようになります。

○実践編（1回以上Zoomを使用したことがある方）
Zoomを活用した会議やセミナーを自ら開催できるようになります。

日時：2/15（月）　【初級編】13:30～15:00　【実践編】15:30～17:00
　　3/18（木）　【初級編】13:30～15:00　【実践編】15:30～17:00
定員：各回6名程度（申込必須・先着順）　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
場所：おやま～る 研修室　参加費：各回300円（資料代）
※ノートPC（カメラ、マイク搭載）、スマホ、タブレットをお持ちの方

市民活動団体向け！SNSはじめの一歩相談会　～安心のWebデビュー～

SNSについての基礎知識をお伝えします。相談会中に参加団体を例にどのSNSを運用するのがいいか一緒に考えます。

日時：2/22（月）13:30～15:00　または　3/7（日）13:30～15:00
定員：4団体（各団体2名まで）（申込必須）　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館
場所：おやま～る 研修室　参加費：各回300円（資料代）

STONY（地域活性化研究会）

下野市、栃木市、小山市、野木町、結城市の地域づくりに携わる人が集まり、講師の実践例をもとにまちづくりや社会課題について意見を交わします。

日時：1/27（水）18:30～20:00　講　師：遠藤　百合子（栃木市地域おこし協力隊）
場所：オンライン(ZOOM)　問合せ：おやま～る

利用登録者・団体全体会　ー2020年度総括ー

小山市市民活動センター利用に関する課題を考える場を設けます。今年度市役所が行った小山市市民活動センターの満足度調査の結果から研修室の予約や駐車場利用などの検討するべき声を頂いています。これら以外にも登録団体を中心にいただいた事前意見などを材料に普段おやま～るを利用している方々と一緒に解決策を考えようと思います。是非、この機会に皆さんのご意見をお聞かせいただき、一緒に考えていきましょう！
※事前意見はメールまたは多目的室に置いているご意見BOXにてお寄せください。（書式自由）

日時：3/17（水）18:00～20:00　定　員：30名（申込必須）
場所：おやま～る 研修室　申込み：HPの申込みフォームもしくは電話・来館

予告！傾聴スキルを高めるセミナー開催！

私たちは生活していく中でコミュニケーションを行っていますが、傾聴を意識することでコミュニケーションの質が上がることが知られています。団体活動を円滑に進めたいとお考えの方や家族や友人たちと更に良い関係を築きたいとお考えの方にお勧めのセミナーです。ただいま新型コロナウイルス感染症による情勢を見て日時の調整をしています。楽しみにしておいてください！
主催：おやま～る、小山市社会福祉協議会　協力：小山傾聴ボランティア協議会

2021年度のロッカー利用申請に関するお知らせ　3/18〆切

多目的会議室にあるロッカーの利用申請の受付を行います。

※おやま～る登録団体の内、社会貢献活動を行っている団体に限ります。
※1団体につき1ロッカーのみとします。
※応募多数の場合、3/25 13:00に公開抽選をして決定します。
（出席の必要はありません。抽選終了後、順次連絡します。）
※今年度利用されている団体で来年度も利用希望される団体も申請が必要です。
※2020年度から継続利用を希望する団体は2020年度の利用状況などを申請時に確認させていただきます。
使用期間　2021年4月1日～2022年3月31日

申請期間
2021年2月15日
～
2021年3月18日

申請方法
①指定用紙に記入する
②窓口に提出する

抽選の流れ
ロッカー大小別に抽選します

教えて！あなたの団体活動！

登録団体紹介

～NPO法人　小山そよかぜ～

インタビューした方：相談支援専門員　大塚豊勝さん

小山そよかぜは1964年から活動を始め、2006年にNPO法人を設立しました。精神障がい、知的障がいのある18歳以上の方々を対象とした支援活動は、3つの事業所で行われています。

①就労継続支援B型事業所「小山ひまわり」。一般就労を目指している方々が、シャープペンシルの組立て、なたね油の搾取・容器詰め作業などをしています。

②地域活動支援センター「ラベンダーハウス」。生活のリズムを整えるための居場所、憩いの場所を提供しています。

③指定特定相談支援事業所「小山すずらん」。各個人にあった障害福祉サービスを提供できるように話を聞き、支援計画の作成を行っています。

精神の障がいと聞くと、皆さんはどのような印象を抱くでしょうか。私がここで働く前は、メディアで取り上げられるような問題を起こしてしまう人という印象が少なからずありました。その後10年ほど働き、訪れた人と接する中で、純粋で優しい人という印象を抱くようになりました。

自分一人だと達成が難しいことをお手伝いするのが私たちです。事業所の活動以外にも、バーベキューやいちご狩りといったイベントも開催しています。多くの方に、こういう居場所があることを知っていただければ幸いです。

小山ひまわりでペンを組立てる様子

小山ひまわりで製造した「なたね油」

～小山市ＩＴボランティア～

インタビューした方：代表　渡邊吉秀さん

私たちは2001年7月に団体を設立しました。当時は国を挙げてＩＴ技術の向上を推進しており、小山市でもパソコンのボランティアを募集していました。私もこのボランティアに参加していましたが、約1年でプロジェクトは終了。その後、参加者から活動を継続してほしいとの要望があり、団体を立ち上げました。

主な活動は、パソコン初心者を対象とした「パソコンよろず相談会」です。相談内容は、パソコンの使い方、Excelを使った計算の仕方など様々です。参加者の悩みはそれぞれ異なるので一人一人に話を聞き、分からないことを教えています。また、スマホやタブレット端末に関する相談も受け付けていますのでご利用ください。「今日はここまでできた」と技術の向上を実感してもらえることや、「家で復習したら新たな疑問が湧いてきた」と意欲的な姿が嬉しく、やりがいとなっています。

現在、一緒に活動してくれるメンバーを募集中です。少しでもパソコンを使えれば参加者の悩みを解決できますので、挑戦したい方は様子を見に来ていただけると嬉しいです。

毎月、第2土曜日と第3土曜日の13時30分から15時30分の2時間、小山市市民活動センターで活動していますのでよろしくお願いします。

（写真右）数々のIT資格を持つ代表の渡邊さん

パソコンよろず相談会（参加費無料・当日参加OK）

当内容は、小山市市民活動センター「おやま～る」のWebサイトにも掲載しています。
ここには書いていない魅力も掲載していますので、是非ご覧ください！
https://oyamaru.net/dantaishoukai